

2019年度（2020年3月期） 第1四半期 決算補足説明資料

2019年8月2日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

連結損益比較表 (サマリー)

	2019年度1Q末	2018年度末	比較増減
連結子会社	96社	94社	+2社
持分法適用関連会社	11社	11社	-
合計	107社	105社	+2社

増加：2社
減少：0社

(単位：百万円)

	2019年度 1Q累計	2018年度 1Q累計	比較増減	増減率	主な増減要因
営業収益	187,161	192,429	△5,267	△2.7%	次ページ参照
営業利益	30,888	31,578	△689	△2.2%	
営業外収益	4,043	2,563	+1,480		持分法による投資利益 +1,506
営業外費用	2,744	2,939	△194		
経常利益	32,188	31,202	+985	+3.2%	
特別利益	460	650	△190		
特別損失	446	1,820	△1,374		固定資産除却損 △904
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21,395	19,197	+2,198	+11.5%	
(参考)					
減価償却費	13,474	12,973	+500		
金融収支 (A) - (B)	△1,532	△1,564	+31		
受取利息及び配当金 (A)	819	858	△39		
支払利息 (B)	2,352	2,422	△70		

セグメント別営業成績 (サマリー)

【当期業績のポイント】

旅行事業が海外・国内旅行とも好調であったことに加え、エンタテインメント事業や情報・通信事業が堅調に推移したものの、不動産事業においてマンション分譲収入が減少したことや、国際輸送事業を取り巻く環境が厳しく、その影響を受けたこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益										
2019年度1Q累計	60,125	48,708	23,005	11,232	11,004	19,135	16,233	6,680	△8,963	187,161
2018年度1Q累計	59,563	54,124	22,547	10,610	9,231	21,886	16,201	7,505	△9,241	192,429
比較増減	+561	△5,416	+458	+621	+1,773	△2,751	+32	△825	+277	△5,267
営業利益										
2019年度1Q累計	12,862	8,106	7,918	480	2,091	△216	291	159	△805	30,888
2018年度1Q累計	12,795	11,085	7,306	255	543	291	280	194	△1,174	31,578
比較増減	+66	△2,978	+612	+225	+1,547	△508	+11	△34	+368	△689

※ 2019年度1Qより、従来「エンタテインメント・コミュニケーション」セグメントに含まれていたコミュニケーションメディア事業を、一層の事業競争力の強化等を目的として、情報・通信事業に改称のうえ、「情報・通信」セグメントに独立させるとともに、従前の「エンタテインメント・コミュニケーション」セグメントの名称を、「エンタテインメント」セグメントに変更しています。

これにより、当社グループの報告セグメントは、従前の「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント・コミュニケーション」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の6区分から、「都市交通」、「不動産」、「エンタテインメント」、「情報・通信」、「旅行」、「国際輸送」及び「ホテル」の7区分に変更されています。

なお、比較期である2018年度1Qのセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しています。

都市交通セグメント

鉄道事業において減価償却費等の諸費用が増加したものの、阪急線・阪神線が堅調に推移したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	60,125	59,563	+ 561	+ 0.9%
営業利益	12,862	12,795	+ 66	+ 0.5%

不動産セグメント

前年同期に高価格のマンションを分譲した影響によりマンション分譲収入が減少したことや、梅田1丁目1番地計画のI期棟の開業に伴いテナント負担の工事代金を前年同期に収受した反動等により、減収・減益

【参考】マンション分譲戸数[当社グループの持分戸数]：+39戸（前年同期 244戸 → 当期 283戸）

(単位：百万円)

	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	48,708	54,124	△5,416	△10.0%
営業利益	8,106	11,085	△2,978	△26.9%

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	16,339	15,790	+549	+3.5	81,989	80,230	+1,758	+2.2
定期	8,648	8,598	+49	+0.6	89,126	88,556	+570	+0.6
うち通勤	7,354	7,305	+48	+0.7	60,417	59,939	+478	+0.8
うち通学	1,294	1,293	+1	+0.1	28,708	28,617	+91	+0.3
合計	24,988	24,389	+599	+2.5	171,116	168,787	+2,329	+1.4

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	5,800	5,603	+196	+3.5	31,596	30,793	+803	+2.6
定期	3,095	3,036	+58	+1.9	32,247	31,660	+586	+1.9
うち通勤	2,755	2,700	+54	+2.0	25,112	24,615	+496	+2.0
うち通学	340	335	+4	+1.3	7,135	7,045	+90	+1.3
合計	8,895	8,640	+255	+3.0	63,844	62,453	+1,390	+2.2

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、PiTaPa区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

エンタテインメントセグメント

ステージ事業において歌劇関連商品の売上が増加したことや、スポーツ事業において興行収入のほか、飲食・物販売上が好調に推移したこと等により、増収・増益

	(単位：百万円)			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	23,005	22,547	+458	+2.0%
営業利益	7,918	7,306	+612	+8.4%

情報・通信セグメント

放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により、増収・増益

	(単位：百万円)			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	11,232	10,610	+621	+5.9%
営業利益	480	255	+225	+88.3%

旅行セグメント

当期のゴールデンウィークが大型連休となったこと等もあり、海外旅行においてヨーロッパ方面が好調に推移し、また国内旅行においても各方面で集客が増加したこと等により、増収・増益

	(単位：百万円)			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	11,004	9,231	+1,773	+19.2%
営業利益	2,091	543	+1,547	+284.9%

国際輸送セグメント

米中貿易摩擦の影響等を受け、東アジアをはじめ航空輸送の取扱が低調に推移したこと等により、減収・減益

	(単位：百万円)			
	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	19,135	21,886	△2,751	△12.6%
営業利益	△216	291	△508	—

ホテルセグメント

飲食事業を外部化した影響
営業収益 約△9億円

営業収益は、飲食事業を外部化した影響があったものの、レム東京京橋及びホテル阪神アネックス大阪が開業したことや、G20の開催により既存ホテルの売上が増加したこと等により増収。営業利益は、新規ホテルの開業に伴い諸費用が増加したものの、既存ホテルが増収となったこと等により増益

(単位：百万円)

	2019年度1Q累計	2018年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	16,233	16,201	+ 32	+ 0.2%
営業利益	291	280	+ 11	+ 4.1%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2019年度1Q末	2018年度末	比較増減	主な増減要因																								
資産の部	流動資産	284,313	302,963	△18,650	受取手形及び売掛金 △20,492																								
	固定資産	2,168,497	2,163,259	+5,237	投資有価証券 +7,526																								
	資産合計	2,452,810	2,466,223	△13,413																									
負債の部	流動負債	376,312	404,286	△27,974																									
	固定負債	1,149,865	1,146,555	+3,309																									
	負債合計	1,526,177	1,550,842	△24,664																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度1Q末</th> <th>2018年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入金</td> <td>748,748</td> <td>758,411</td> <td>△9,663</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>112,000</td> <td>112,000</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>リース債務</td> <td>8,245</td> <td>6,644</td> <td>+1,600</td> </tr> <tr> <td>連結有利子負債</td> <td>868,993</td> <td>877,055</td> <td>△8,062</td> </tr> <tr> <td>未払金</td> <td colspan="3">△29,835</td> </tr> </tbody> </table>							2019年度1Q末	2018年度末	比較増減	借入金	748,748	758,411	△9,663	社債	112,000	112,000	-	リース債務	8,245	6,644	+1,600	連結有利子負債	868,993	877,055	△8,062	未払金	△29,835		
	2019年度1Q末	2018年度末	比較増減																										
借入金	748,748	758,411	△9,663																										
社債	112,000	112,000	-																										
リース債務	8,245	6,644	+1,600																										
連結有利子負債	868,993	877,055	△8,062																										
未払金	△29,835																												
純資産の部	株主資本	866,636	853,397	+13,238	親会社株主に帰属する四半期純利益 +21,395 支払配当 △4,925 自己株式 △2,736																								
	その他の包括利益累計額	29,415	31,465	△2,049																									
	非支配株主持分	30,580	30,517	+62																									
	純資産合計	926,632	915,381	+11,251																									
自己資本比率		36.5%	35.9%	+0.6 p																									